

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年1月17日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		12月の価格動向			1月の価格動向		生育及び価格の1月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の 関東・近畿ブ ロック旬別平	
			中旬	下旬		上旬	
葉 茎 菜	キャベツ	66.3	72	68	88.05	79	・愛知産は、寒波の影響で玉伸びせず小玉傾向、出荷量は前年より少なめに推移する見込み。千葉産も寒さの影響で、出荷量が少なめの見込み。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年よりやや高めで推移する見込み。
		69.92	78	73	79.74	80	
	ねぎ (関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ)	218.22	252	272	229.99	289	・千葉産は、病虫害の影響もなく順調な出荷量となり、少なかった前年より多めの出荷量になっている。埼玉産も生育が回復傾向にあるものの、夏場の影響を引きずり、前年より少なめの見込み。 ・出荷量が回復しつつあるが、平年並みの出荷量に届かないことから、価格はやや高めで推移する見込み。
		444.77	344	406	450.51	438	
	はくさい	36.65	45	44	64.34	46	・茨城産は、出荷は安定しており、平年並みの出荷量となる見込み。群馬産は、9月下旬の定植時期が雨の影響で遅れたため小玉傾向かつ少なめの出荷量となっているが、下旬には出荷量が回復する見込み。 ・茨城産の総出荷量が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		53.29	56	55	76.33	57	
	ほうれんそう	333.43	329	376	307.66	462	・群馬産・埼玉産ともに、順調な出荷だったが、寒波の影響で出荷量が減少傾向、下旬には少なめの出荷量となる見込み。 ・出荷量が減少することから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		399.77	374	363	341.25	424	
	レタス	259.83	134	139	259.83	173	・静岡産は、生育が良好で順調な出荷となる見込み。兵庫産は、寒波の影響で小玉傾向ながら、前年並みの出荷となる見込み。香川産も寒波の影響で小玉傾向、前年よりやや少なめの出荷となる見込み。 ・寒波の影響で出荷量が減ると見込まれることから、価格は平年より低めで推移しているが上昇し、平年並みで推移する見込み。
		238.68	130	126	238.68	175	
	たまねぎ	76.15	149	148	76.15	152	・北海道産は、小玉傾向かつ成品率が悪いことから、出荷量は平年を下回る見込み。 ・北海道産が不作であることから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		76.15	148	146	76.15	145	
果 菜	きゅうり	370.98	294	435	370.98	333	・千葉産は、生育が順調で平年並みの出荷となる見込み。宮崎産・高知産は冷え込みの影響で、平年並みかやや少なめの出荷量となる見込み。 ・価格は、平年並みで推移する見込み。
		350.33	284	411	350.33	326	
	トマト	332.6	344	383	332.6	377	・熊本産は、低温や日照不足の影響で、着色が鈍く玉の肥大も進まず、前年より少なめの出荷量の見込み。愛知産は、ピークを過ぎ出荷量は微減傾向だが、前年並みの出荷量の見込み。 ・主力の熊本産の出荷量の伸び悩みから、価格はやや高めで推移する見込み。
		311.06	343	356	311.06	355	
	なす	389.03	376	388	389.03	332	・高知産は、低温の影響から玉の肥大が進まず、2月上旬まではやや少なめの出荷が続く見込み。福岡産は、日照不足・低温により肥大が遅れている。 ・価格は、平年並みで推移する見込み。
		397.74	400	411	397.74	324	
	ピーマン	327.99	338	343	501.13	340	・宮崎産は、ピークを過ぎ少なめの出荷となっているが、下旬には出荷量が増加する見込み。高知産は低温の影響でやや少なめの出荷量となる見込み。茨城産は、低温により肥大が進まず、出荷量は平年より少なめの見込み。 ・今後、主力の宮崎産が順調な出荷になると見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		336.77	353	334	467.19	304	
根 菜	だいこん	64.33	50	47	83.19	52	・千葉産は、12月は潤沢な出荷量だったが、1月は寒波の影響によりやや減少傾向。神奈川産は、順調な生育になっている。 ・価格は、低めで推移する見込み。 (※トピック欄参照)
		76.48	51	48	84.7	47	
	にんじん	100.82	110	130	96.24	131	・千葉産は夏場の少雨と10月の日照不足の影響で、前年より1割～2割減の出荷量の見込み。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年よりやや高めで推移する見込み。
		104.49	122	140	104.73	105	

種類		12月の価格動向			1月の価格動向		生育及び価格の1月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の 関東・近畿ブ ロック旬別平	
			中旬	下旬		上旬	
い   も	さといも	200.88	294	314	217.95	309	・埼玉産は、夏の少雨の影響で小玉傾向、前年の出荷量を約2割下回る見込み。 千葉産も夏の少雨、10月の降雨の影響で、生育不良がみられ、前年の出荷量を下 回る見込み。 ・価格はやや高めで推移する見込み。
		207.2	236	268	219.65	351	
	ばれいしょ	88.17	150	149	88.17	146	・夏の高温の影響で小玉傾向、空洞果多く、玉つきも悪く、出荷量は少なかつた 前年を下回る見込み。 ・出荷量は前年を下回る見込みで、価格は引き続き平年より高めで推移する見込 み。
		88.17	138	137	88.17	138	
1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数 で修正した価格の平均(消費税は除く)。 2) 旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回る もの(消費税は除く)。 3) 単位は円／k g、上段は関東、下段は近畿ブロック							
1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。 2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。 3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。							

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、11月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,678gで対前年比88%、購入金額は、1,774円で同114%となり、購入量が対前年を下回っているが、引き続き購入金額は対前年を上回っている。

また、小売物価統計によると、12月のキャベツの小売価格は184円で過去5年平均比126%、レタスは354円で同78%となり、レタスは前年を下回っている。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年		過去5か年平均		平成21年		平成22年			
月	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比	
1月	4,130	1,521	4,277	1,548	4,240	99	1,551	100	
2月	4,325	1,548	4,536	1,529	4,461	98	1,574	103	
3月	4,675	1,690	4,799	1,685	4,970	104	1,768	105	
4月	4,758	1,783	4,783	1,805	4,518	94	1,804	100	
5月	5,127	1,884	5,216	1,918	4,925	94	1,965	102	
6月	5,042	1,856	5,180	1,888	5,026	97	1,907	101	
7月	4,471	1,668	4,645	1,648	4,264	92	1,697	103	
8月	4,330	1,703	4,321	1,752	4,241	98	1,733	99	
9月	4,913	1,783	5,141	1,828	4,605	90	1,818	99	
10月	5,382	1,807	5,691	1,767	4,994	88	1,959	111	
11月	5,024	1,569	5,307	1,560	4,678	88	1,774	114	
12月	5,185	1,797	5,213	1,751					

資料:総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移

(単位:円/kg)

	キャベツ		5カ年比 (%)	レタス		5カ年比 (%)
	過去5カ年平均	平成22年		過去5カ年平均	平成22年	
1月	201	173	86	613	639	104
2月	188	199	106	500	530	106
3月	190	201	106	464	479	103
4月	231	343	148	435	596	137
5月	188	182	97	376	468	124
6月	151	168	112	339	377	111
7月	149	164	110	315	317	101
8月	159	169	106	449	536	119
9月	153	155	101	472	515	109
10月	146	192	132	419	668	160
11月	129	265	205	339	520	153
12月	146	184	126	456	354	78

注1:過去5カ年は平成17~21年

注2:12月の値は、12月中旬の速報値

資料:総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

平成22年12月の輸入量を植物防疫統計でみると、たまねぎは対前年比219%（うち中国同175%、米国同362%）の4万5千トン、にんじんは同362%（うち中国同359%、オーストラリア同521%）の6千トン、ねぎは同181%（うち中国同200%）の5千トンとなり、前年より大きく増加している。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位：トン、%)

区分	平成20年		平成21年		平成22年1月～11月		平成22年11月
		前年比		前年比		前年同期比	前年同期比
生鮮野菜	602,733	84	615,271	102	720,850	130	163
加工野菜	1,660,663	93	1,569,627	95	1,528,708	107	117
野菜輸入量合計	2,263,395	90	2,184,898	97	2,249,558	113	129
うち中国産野菜合計	1,150,352	81	1,098,415	95	1,150,352	116	133
中国産シェア	51		50		51		

資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A)2009.12	(B)2010.12	(B)/(A)
たまねぎ	合計	20,546	44,916	219
	中国	15,383	26,925	175
	米国	4,972	17,991	362
にんじん	合計	1,649	5,971	362
	中国	1,571	5,642	359
	オーストラリア	48	250	521
ねぎ	合計	2,966	5,380	181
	中国	2,694	5,378	200

資料：農林水産省「植物防疫統計」（2010.12）は、12月末日までの速報値である。

4 トピック

だいこんの需給動向について  12月中旬よりだいこんの価格が低迷している。 これは、夏場の高温・少雨で播種時期の遅れから出荷の出遅れがみられ、10月下旬～11月上旬は価格が高騰したが、その後は、9月以降の適雨と天候の回復により順調な出荷となったことに加え、生育ステージが後ずれたものとの出荷が重なったことから、潤沢な出荷量となっていることによる。 年明けからの寒波の影響により生育に多少鈍化がみられるものの、聴き取りによると大幅な需要の増加も期待できないことから、しばらくは過剰基調で推移するものと見込まれ、価格動向への注視が必要である。	だいこんの入荷量と価格の推移(東京都中央卸売市場)	だいこんの産地別入荷量の推移(東京都中央卸売市場)
	だいこんの入荷量と価格の推移(9/上～1/上)	9月上旬～1月上旬
	出荷の出遅れ 回復 低迷	北海道 青森 神奈川 千葉 出荷出遅れ やや減少傾向
	資料:青果物情報センター	資料:青果物情報センター